

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #21 Top 10 Japanese Holidays: Shōgatsu/New Year

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 3 Romanization
- 4 English
- 5 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 6 Grammar

21

KANJI

1. 「正月」
2. 新年を祝う行事、「正月」。
3. 日本では「明けましておめでとうございます」と挨拶をしますが、なぜ年が明けることがめでたいのでしょうか。それは、正月には各家庭に「歳神様（としがみさま）」という神様が来てくださるから。この歳神様は、その年の豊作と、一家の健康を約束してくださる神様なのです。
4. 冒頭の挨拶は、「年が明け、歳神様が来てくださるとは、おめでたいことです」という意味。わざわざ神様が家に来てくださるのですから、特別な飾りつけや料理などを準備します。
5. 例えば「門松（かどまつ）」。これは松や竹などを使った飾りで、家の門（もん）の両側に立てます。門松には、神様が初めに降りてこられると言われていています。他には「しめ飾り」。これは「わら」という植物を乾燥させて作った縄（なわ）で、玄関の軒下に飾ります。それによって、神聖な場所だということを示すのです。さらに、「餅」も正月ならでは。古来から、餅は特別な日の食べ物でした。人々は歳神様を迎えるにあたって餅をつき、お供えをします。そして、一月一日に神様にお供えした餅のお下がりとして食べるのが「雑煮」。
6. また、「お節料理（おせちりょうり）」も作ります。元来、季節の変わり目である節句に、神様にお供えした食べ物が「お節料理」だったとか。次第に、正月が最も重要な節句だと捉えられるようになり、正月料理のことを「お節料理」と呼ぶようになりました。
7. この他にも、様々な正月特有の行事や習慣がありますが、いずれも歳神様に畏敬と感謝の念を示し、家族の幸せを願う気持ちが込められています。

KANA

CONT'D OVER

1. 「しょうがつ」
2. しんねんをいわうぎょうじ、「しょうがつ」。
3. にっぽんでは「あけましておめでとうございます」とあいさつをしますが、なぜとしがあけることがめでたいのでしょうか。それは、しょうがつにはかくかていに「としがみさま」というかみさまがきてくださるから。このとしかみさまは、そのとしのほうさくと、いっかのけんこうをやくそくしてくださるかみさまなのです。
4. ぼうとうのあいさつは、「としがあけ、としがみさまがきてくださるとは、おめでたいことです」といういみ。わざわざかみさまがいえにきてくださるのですから、とくべつなかざりつけやりょうりなどをじゅんびします。
5. たとえば「かどまつ」。これはまつやたけなどをつかったかざりで、いえのもののりょうがわにたてます。かどまつには、かみさまがはじめにおりてこられるといわれています。ほかには「しめかざり」。これは「わら」というしよくぶつをかんそうさせてつくったなわで、げんかんののきしたにかざります。それによって、しんせいなばしょだということをしめすのです。さらに、「もち」もしょうがつならでは。こらいから、もちはとくべつなひのたべものでした。ひとびとはとしがみさまをむかえるにあたってもちをつき、おそなえをします。そして、いちがつついたちにかみさまにおそなえしたもちのおさがりとしてたべるのが「ぞうに」。
6. また、「おせちりょうり」もつくります。がんらい、きせつのかわりめであるせつくに、かみさまにおそなえしたたべものが「おせちりょうり」だったとか。しだいに、しょうがつがもっともじゅうようなせつくだととらえられるようになり、しょうがつりょうりのことを「おせちりょうり」とよぶようになりました。
7. このほかにも、さまざまなしょうがつとくゆうのぎょうじやしゅうかんがありますが、いずれもとしがみさまにいけいとかんしゃのねんをしめし、かぞくのしあわせをねがうもちがこめられています。

ROMANIZATION

CONT'D OVER

1. Shōgatsu
2. Shinnen o iwau gyōji, "shōgatsu".
3. Nippon de wa "Akemashite omedetō gozaimasu" to aisatsu o shimasu ga, naze toshi ga akeru koto ga medetai no deshō ka. Sore wa, shōgatsu ni wa kakukatei ni "Toshigami-sama" to iu kamisama ga kite kudasaru kara. Kono Toshigami-sama wa, sono toshi no hōsaku to, ikka no kenkō o yakusoku shite kudasaru kamisama na no desu.
4. Bōtō no aisatsu wa, "toshi ga ake, Toshigami-sama ga kite kudasaru to wa, o-medetai koto desu" to iu imi. Wazawaza kamisama ga ie ni kite kudasaru no desu kara, tokubetsu na kazaritsuke ya ryōri nado o junbi shimasu.
5. Tatoeba "kadomatsu". Kore wa matsu ya take nado o tsukatta kazari de, ie no mon no ryōgawa ni tatemasu. Kadomatsu ni wa, kamisama ga hajime ni orite korareru to iwarete imasu. Hoka ni wa "shimekazari". Kore wa "wara" to iu shokubutsu o kansō sasete tsukutta nawa de, genkan no nokishita ni kazarimasu. Sore ni yotte, shinsei na basho da to iu koto o shimesu no desu. Sara ni, "mochi" mo shōgatsu naradewa. Korai kara, mochi wa tokubetsu na hi no tabemono deshita. Hitobito wa toshigami-sama o mukaeru ni atatte mochi o tsuki, o-sonae o shimasu. Soshite, ichi-gatsu tsuitachi ni kamisama ni o-sonae shita mochi no osagari to shite taberu no ga "zōni".
6. Mata,"osechi ryōri" mo tsukuri masu. ganrai, kisetu no kawarime de aru sekku ni, kamisama ni o-sonae shita tabemono ga "osechi ryōri" datta toka. Shidai ni, shōgatsu ga mottomo jūyō na sekku da to toraerareru yō ni nari, shōgatsu ryōri no koto o "osechi ryōri" to yobu yō ni narimashita.
7. Kono hoka ni mo, samazama na shōgatsu tokuyū no gyōji ya shūkan ga arimasu ga, izuremo toshigami-sama ni ikei to kansha no nen o shimeshi, kazoku no shiawase o negau kimochi ga komerarete imasu.

ENGLISH

1. Shōgatsu/New Year

CONT'D OVER

2. The celebration of the New Year is called "shōgatsu."
3. In Japan, we use the greeting "Akemashite omedetō gozaimasu" (Congratulations on the New Year), but why is the coming of a new year an occasion for celebration? It's because every the New Year, gods called "toshigami" (year gods) visit every household. These "toshigami" are gods who promise a good harvest for that year as well as that family's good health.
4. The greeting I mentioned at the beginning means "The new year coming and the toshigami visiting is a cause for celebration." The gods take the trouble to come to one's home, so people put up special decorations, prepare special food, and so on.
5. "Kadomatsu" ("gate pine") for example. This is a decoration made of pine and bamboo, which is placed on both sides of the door to the home. It is said that the kadomatsu allows the gods to initially alight from heaven. There's also the "shimekazari." This is a rope made from drying a plant called "wara" (straw), which is hung from the eaves of the entrance way to the home. This indicates that it is a sacred place. Moreover, it wouldn't be New Year without "mochi" (sticky rice cake). From time immemorial, mochi has been a food eaten on special days. In order to welcome the toshigami, people pound mochi and then make an offering of it. Then, on the first of January, the mochi offered to the gods is eaten as "o-sagari," or "leftovers," in the form of "zōni" (mochi cooked with vegetables).
6. We also make "o-sechi ryōri." It's said that originally, "o-sechi ryōri" was the food presented as an offering to the gods at the seasonal festival which marked the turn of the season. Gradually, o-shōgatsu began to be perceived as the most important of the seasonal festivals, and the food eaten at New Year became known as "o-sechi ryōri."
7. Besides these, there are various other events and customs unique to New Year which all express feelings of reverence and gratitude towards the toshigami, and which are also imbued with prayers for the family's happiness.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
豊作	ほうさく	hōsaku	good harvest, abundant harvest

飾りつけ	かざりつけ	kazaritsuke	decoration
縄	なわ	nawa	rope
お供え	おそなえ	osonae	offering
節句	せっく	sekku	seasonal festival
畏敬	いけい	ikei	reverence, awe
軒下	のきした	nokishita	under the eaves
乾燥	かんそう	kansō	dry, dehydrated

SAMPLE SENTENCES

<p>今年は豊作です。 <i>Kotoshi wa hōsaku desu.</i></p> <p>We had a good harvest this year.</p>	<p>クリスマスツリーの飾り付けが終わった。 <i>Kurīsumasu tsurī no kazaritsuke ga owatta.</i></p> <p>We finished decorating the Christmas tree.</p>
<p>強盗を縄で縛り上げた。 <i>Gōtō o nawa de shibariageta.</i></p> <p>I tied up the thief with a rope.</p>	<p>毎日かかさずお供えをする。 <i>Mainichi kakasazu osonae o suru.</i></p> <p>I make an offering every day.</p>
<p>5月5日は端午の節句です。 <i>Go-gatsu itsuka wa tango no sekku desu.</i></p> <p>May fifth is the Boys' Day.</p>	<p>自然に対して、畏敬の念を抱いた。 <i>Shizen ni taishite ikei no nen o idaita.</i></p> <p>I experienced a feeling of awe at Nature.</p>
<p>猫が自分の家の軒下に住んでいる。 <i>Neko ga jibun no ie no nokishita ni sunde iru.</i></p> <p>A cat is living under the eaves of my house.</p>	<p>空気が乾燥している。 <i>Kūki ga kansō shite iru.</i></p> <p>The air is dry.</p>

GRAMMAR

Yuichi: オーディオブログ第4シーズン第21課 「正月」

Jessi: こんにちは ジェシーです

Yuichi: ゆういちです。このシリーズでは、ジェシーさんと一緒に「日本の行事・祝日」を紹介していきます。

Jessi:このオーディオブログを書ってくれたのはどなたですか？

Yuichi:みやちひろえ先生です。

Jessi:ひろえ・・・ということは、女の人ですか？

Yuichi:はい、そうだと思います。僕はまだお会いしたことはないんですけども。

はい。この、みやち先生は高校で国語を教えていたそうで、このシリーズのほかにも日本の作家や日本の歌についてブログも書いてくれています。皆さん、そちらのシリーズもぜひチェックしてみてください。

Jessi:みやち先生が今回紹介してくれる日本の行事は何ですか？

Yuichi:お正月です。それでは、聞いてみましょう。

* * * * *

Yuichi:さて、今回のブログは年の初めの行事、正月から始まりましたね。ジェシーさん、どうでしたか。

Jessi:そうですね。「明けましておめでとうございます」の由来が初めてわかりました。どうして年が明けておめでたいのか知らなくて、前から不思議に思っていたんですよ。

Yuichi:なるほど。今日解決してよかったですね(笑)。実は、僕も普段はまったくこの「明けましておめでとうございます」の意味は意識してなかったです。

Jessi:そうなんですか。歳神様(としがみさま)が来てれるのがおめでたいってことなんですね。

Yuichi:リスナーの皆さんは、もちろんご存知だと思んですけども、「明けましておめでとうございます」っていう言葉は、その年の、一番初めに会ったときに使うんですよ。

Jessi:そうですね。言うだけじゃなくて、年賀状とかメールに書いたりもしますね。

Yuichi:そうですね。ちなみに、この「年賀状」というのは、前の年にお世話になった人を書く葉書のことです。ジェシーさんは、年賀状って書きますか？

Jessi:私、初めて日本で過ごしたお正月は、頑張って年賀状作りに挑戦しました。

Yuichi:すごいですね。

Jessi:文房具屋に行って、かわいいシールとか、白紙のはがきを買って、自分で作って見たんです。なんか、そういったもの作りが好きなのですごく楽しかったです。でも最近、正直あんまり書いていないですね…。あの、祐一さんは？

Yuichi:実は僕も、もうかなりめんどくさくなってしまってますね、もうほとんど書きません。でも、中学生くらいまでは友達に毎年書いていたんですけども…。
Jessi:ちなみに今年は何枚書いたんですか？

Yuichi:0枚です。

Jessi:あれ？

Yuichi:基本的に、年賀状は相手に1月1日に届くように書くので、ということは12月中に書かなくちゃいけないじゃないですか、なので結構、こう、年末にめんどくさいなあ・・・というのがちょっとあります。

Jessi:ちょっとわかる気がします。

Yuichi:あの、僕の大学の先生は、いまだに500枚とか書くとか言ってましたよ。

Jessi:え、500枚？そんなに？！！ **Yuichi:**友達だけじゃなくて、仕事とかでお世話になっている人とかにも書くと、数が多くなってしまふみたいなんです。それで年末の忙しい時に準備するのはかなり大変なんじゃないでしょうか。

Jessi:そうですね！

Yuichi:そういえば、日本の年賀状というのは、アメリカでは、クリスマスカードみたいなものなんですかね。

Jessi:あー、そうですね！年賀状みたいに、家族、親戚、あとお世話になった人に送りますね。

Yuichi:たとえば、最近では、日本の年賀状というのは、若い人とかを中心にだと思っんですけども、書く人っていうのがすごい少なくなっているみたいですよ。なのでその代わりにメールで年賀状を書くということにするみたいなんです。

Jessi:そうですね。メールの方が簡単に送れますしね。

Yuichi:で、このメールで出す時なんですけれども、よく使われるフレーズがあるので、ここで紹介しますね。ジェシーさんも知ってるか、どうでしょうね？

Jessi:どうでしょうね～。

Yuichi:「あけおめ。ことよろ」

Jessi:え？そんな簡単な問題でいいんですか？

Yuichi:お、失礼いたしました。 **Jessi:**多分、このレッスンを聞いているようなリスナーはみんな知っているとおもいます。

Yuichi:わかりました。じゃちょっとこの「あけおめ。ことよろ。」説明してもらえますか。

Jessi:はい。あめ・おめが、「あけましておめでとう」ですよ。で、こと・よろ。が「今年もよろしく」。省略したフレーズです。

Yuichi:そのとおりです。さすが、ジェシーさん。この「あけおめ」「ことよろ」というのは、若者言葉ですのでかなり砕けたカジュアルな言い方というふうになります。ですので、目上の人とかフォーマルな場面で絶対使ってはいけませんが、友達同士ではよく使いますね。

Jessi:そうですね、お正月限定、役に立つ表現ですね。

ところで、祐一さんはお正月はどうやって過ごすんですか。

Yuichi:基本的には、まず正月の前日、つまり大晦日に、友達と会って遊んだりして、そのまま1月の1日の朝まで起きていて、朝になったら神社に行きます。

Jessi: ずっと起きてるんですか?!

Yuichi: そうです。最近、ちょっと年なのであんまりやりませんが、最近まではオールをしていました。

Jessi: オールする・・・若い人がよく使う、Japanese-Englishですね。このオールは "All night" からですか?。

Yuichi: そうだと思います。一晩中起きているということです。で、僕は、12月31日にオールしたあと、1月1日になって神社に初詣に行くということです。

Jessi: へーたのしそう…。若者っぽいですね。

Yuichi: まあ昔は若者でしたから。ジェシーさんは今年の正月はどうやって過ごしましたか?

Jessi: 私は実家に帰って、

Yuichi: なるほど、アメリカに帰ったってことですね

Jessi: はい。家でゆっくり家族と過ごしました。日本と違って、正月の日に何か特別なことをしたり、特別な料理を食べる習慣はないんですけど、大晦日に、友達同士で集まって、パーティーをすることが多いですね。

Yuichi: オールはしますか? Jessi: オールは、しますね! そうですね。あの、カウントダウンをしたり、

Yuichi: 若者ですね。

Jessi: そうですね。

Yuichi: 日本に住んでいるリスナーの皆さんは、正月をどうやって過ごすんでしょうね。海外にいるリスナーの皆さんは、どうやって過ごしますか。

Jessi: 是非コメントしてください。

Yuichi: それじゃあ、今回はこの辺で。

Jessi: それじゃあ、また。Yuichi: さようなら。